十評義句集

東京帝國大學圖書之印
貼
1918

へ 5
門 號 表

宮城縣立図書館

十評集

北越浦佐多聞天奉納発句四千
百餘座の内接句一評より二十五吟
京撰者法壺斎希因懐紙
五十余の遠遠より十評を乞
巻頭巻軸の称号あり二巻より
二十四巻まで甲乙句位差のあり

瀧澤文庫

但、通り点、新古語より九評まで
情景の帖部まで五語とい
通り点い数多の風景とへ

享和元辛酉年仲秋

願主北越塩澤
楓館茂兮

補助
秋月莽牧之

十評發句集

東都松露庵烏明撰

巻頭

雨日も道や ひらきそめ初梅　黒川　三峯

柳泳ぐ家へ客とい客ふる　上野　龍岡

清くとも山ふる秋の夕の那　目来田　里竹

よりそ生母は力や小初雑　塩沢　箏木

今宵秋くと浮る蛙　大崎　友亭

ひ月の雲ふ秋乃長い　武州忍　年路

設ける所あまた流れ落ちる所　塩沢　牧之
咲くより散てい[illegible]柳　うれ　長岡　里明
葉中干ぬるの日や枇杷の葉　六日町　盧呂
青月くさふ出て[illegible]れいこの澤新山　塩沢　青宇
[illegible]ぬも年いまふる　仝　北川
[illegible]石へ出[illegible]ふ[illegible]　下一日市　尚水
[illegible]舟の[illegible]　長岡　曉雪
是ら日は永くいいうす　奥州會津　巨石
是[illegible]　武州蕨　和風

加け年ふ秋ふる川[illegible]や麻[illegible]　同忍　流之
火燈の枝ふるふる葉の[illegible]　龍岡
きりくさて葉ふ[illegible]　長岡　峨山
掃て[illegible]あつ[illegible]高葉　仝　松竹
流やこてあ[illegible]山の[illegible]　日来田　翁儿
[illegible]柳乃[illegible]　見附　其流
犬の[illegible]新[illegible]　松竹
后乃月[illegible]　牧之
流の[illegible]　竹ノ又　如竹

巻軸

月ふくて秋まつ二日の入さまの　音町　昌宇

浪速八千坊選

華やかの名のうるはしきなれ紅のうち　塩沢　青宇

志のうへやさきの梅の匂ひつく　信州七瀬　島凌

夕霧てうるはしけるまつ山　馬場　芦元

きくの園乃霜まとくくり二日月　白町　松居

柘果て人手風ある屋敷ふ　塩沢　牧水

ほくきに尾さの種は野ゐ　武蔵ノ巣　仙風

うるはしい夕風さきてる梅う　宮村　洞暁

人をも見てる射的の表なり　柏崎　呉洋

栄の山行の中ふるふり　竹又　野草

海さ乃風十日の入田つる　芦元

さんてるも通ぬ墨うれ　繁山　柳生

ほくまの風い手濁よんふう　中出路　素風

散るの絶てふまるる　関　野麥

ちしまふもぬ秋の香　目来田　里竹

枕るちんの来て来の面　小千谷　旭宇

郭ちうつを時そうそうを物　長岡　松路

日南りや彩雪をうてを寒の入　仙田　二川

雨ちまつを忘の花をうかるを　六日町　慮呂

日のうへをおもふ雪の滝　上州伊勢町　一峨

花とは中をを春きりへのを　松居

月影をふうつて秋の仏の形　里竹

晩鐘を聞うふ連を叶ふ　松木　雨蓉

うつをを海も高あ平雁山　小千谷　仲有

春時や夕の稀みをを武蔵の巣　望雨

淋しさのをあふ秋の宿の形　青宇

洛東芭蕉堂蒼虬評

蓮の葉の明るを新まを蛙　小千谷　玉芝

桔梗の咲ふ新鮮の滴りぬ秋の雨　水沢　柏青

岩角ふ淋の沈やまを風　柏崎　千保

名月や菓頁小を咲ふ峰の坊　長岡谷　月撫

白雲の紛引秋尾花うを　塩沢　牧之

中ふをちや雨をの菓を伊勢の海　柏青

百年を経ても火を養さして多孫　六日町　可周
さしてさすかの秋の雪可南　塩沢　青宇
松風の浪を吹や　閑る春　柏崎　其貞
こうしやの葉つゝみ桜すゝ月　六日町　文里
都ちかうなれ降りを月枝の雪　下条　師乙
白梅やおしの高潮　竹ノ又　古村
筆の雪ちりやまりくす　下一日市　謝白
あをのや雪の中より水の音敬　青宇
ちる雪の眉毛ゆさいる月折柴　六日町　尚古

其の雪都の雪を似るこゝろ　上州伊勢町　丹霞
清水ちて入る夕ゝ　仝　一峨
水音ちて入るおやる舵　塩沢　牧水
行の雪か呼井の雪を雪　上州伊勢町　琴霞
よ紅ふか柳　桂ゝ　勝月　武蔵谷　壽亡
雪を知て雪入りを雪　六日町　慮呂
稲妻ふかゝ　見附　其流
月ゝあ丁乳母の力や小松原　塩沢　筆木
新雪や馬ち嘶　六日町　其及

[illegible]　桃溪（高）

湖南義仲寺重厚選

[illegible]　芦笙（塩沢）

[illegible]　仲有（小千谷）

食時の膳より暑うれ　松岳（宮町）

[illegible]　二川（仙台）

[illegible]　青字（塩沢）

寂[illegible]　可榮（全）

[illegible]　松岳（宮町）

五悪邑の[illegible]　野牛（関）

[illegible]　茂兮（塩沢）

[illegible]　柵夕（長岡）

生[illegible]　朝雨（山谷）

[illegible]　北川（塩沢）

雨漏や[illegible]　柵雨（竹又）

[illegible]　松聲（中條）

[illegible]　里竹（目黒田）

名月や海は何方へ大の月　中條　麹舟

月秋や田ごとに十文字　長園　太傳

禪寺に佛たちの寒さうなる　柏崎　真貝

月見たい竹よかくてうんざるる　小千谷　旭宇

くもくもくもくもうしうみ市槿うる　見附　文溟

菜のむやたたかめくりの昔道　園　野麥

秋川や日ごと近ゆるるの音　朝雨

牛時の日やたたんたんの道の　仙田　二川

朝の雲川一ぱいの雲小　柏崎　芦雪

多枯石を琴乃山ゆゆ郡　宮町　尚古

東都　春秋庵其堂評

梅ゝや雨の川月は屋敷の少　敬之

ゝゝ蘇の宮ゝゝ千年ゝ園春山　目黒田　里竹

鼓の花や石ゝ志ゝ志ゝ志ゝの汗　塩沢　牧之

ゝゝゝゝのふゝゝ蛍は仙ゝ　里竹

ゝゝも蘇ゝ花は千年ゝ　武蔵　月樵

蟹栗の花ゝゝの雨ゝ敷ゝ　塩沢　志好

入海や　春の風　峠　六日町　昌宇
吹ふる　中を入り　岩角ふ　波の泡や　春の風　上州沼田　素列
花菜皐月の　雨も白ひ　久保　信州七郎　島淩
雲や　小風の　ふるひ　井の中　塩沢　北川
多枯の　野路　近き　山ふ　牧之
河原　枝　つる　上野　龍因
蕎の穂乃　都　や　みれ　海の　塩沢　牧水
家う　跡を　蛙の　追や　うる　六日町　松居

蛾の　番　竹　笠　竜　ふり　昼ふ　佐梨　梅甫
降　雨の　花　う　つ　て　塩沢　可榮
家　庵の　門を　ふ　世の　う　ふ　小千谷　玉芝
白雲乃　ち　ち　け　ち　山路ふ　可榮
尾雲　竹　かふ　月　や　峠　る　長岡　吐月
河霧の　上を　り　の　さ　柳　風　六日町　文里
枯の　ふの　ち　ふ　新　る　月　上州伊勢町　白之
馬の息　新　の　竹　新　ち　竹又　古村
夏　竹　月　清　ち　ち　新　柏崎　斗石

きれあつて巷の秋ひこうきくり　上野　柳雪

讃州　邦子坊博和評

うりあい宝なまきとや星の恵　小出嶋　猪尤

雲はあるしあみ別る日数うま　塩沢　志好

茶市干に粧のり彩や枇杷のむ　宮町　慮呂

蔦水咲て麦やそとの岸　関　野牛

唐ことて粉のうら宝しあの自ひ　堀内　准龍

西の秋や茶印の上をまりて　竹ノ又　柳雨

初雪やつまとよ後世を嫁ら　塩沢　牧之

駕籠舁のいくいくいて俤あふ　長岡　曉雪

咲ものり来てふるふ柳小　仝　里明

三女夫乃猫も恋ふや生涯魂　見附　梨曉

門口ゆ出しいと生りの雪　竹ノ又　竹水

腰をえて来るる凍ゝつ那　宮町　昌宇

鶏妻りしいとをしの玉乗　長岡　喜雪

月ふて秋ふ二ふ三年久も　昌宇

命ゝめ孫次め野の牛婦人　山谷　牧里

和中ヨ芋仕直ちや夜の月　見附　梅天

玉棚や秋乃長も叶ひつゝ　佐梨　牧之

うけ入て連ふ清水山　見附　霞柵

そゝぐ水もくゝまれぬ　見附　雲笠

さてうたて巣とるやうや新燕　堀之内　志道

枝あてく滴り清やさしき　仝　徐涼

楚い枯ゝ多日とゝ　塩沢　梅宇

流るとゝ加うて　門　楚練

浪のゝ河海ゝ　竹又　如竹

六月の雪やなかい清水山　小千谷　玉芝

東都千鳥庵杜春撰

きゝ柳のふゝ縷ゝ二月ゝ　東都　如水

蝶飛て土ゝやゝ　片貝　孤峯

ひゝ鳥のゝ　宮町　昌宇

雪ゝ春二百の月をん　伊勢平氏　嘯之

野ゝ　武州忠　巽山

時ゝ　宮町　椿臺

城の口毛氏を待ち一根くふ　長岡　文正
袖笠を舞ふの涙はけるる乳　黒門　藤栄
麻かりの資産も朽ち秋の雨　塩沢　志好
房かまれ峰ふ寒し小まし　武州羽生　宋茂
高てい国かり出り秋の月　如水
角咲て屋ふ河ふ出り乳　上州八崎　素亥
乳ふ出ふ怨いあり凡巾　鰐口　柳生
稲妻の雲ふ乳ふれぬ身ふ　京町　尚古
老ふの角ふ手ふり秋の山　出雲崎　里仙

十一

雲ふけのふ出り秋ふ　志好
半夜て来ふい清ふ多ふる　武忍　圖大
二夜静て白張ふ水田ふ　小栗山　自逕
桂ふ秋や月ふ屋ふり　水沢　敬之
帰ふ咲て報ふ和う田　月来田　里竹
笹ふ永ふ言や出ふ新ふ　長岡　太傅
谷ふ乃ふ踏ふ高ふ　京町　慮呂
人阿て花野ふ咲ふ　仝　杜岳
新緑や星ふ拂ふ薄風　塩沢　芦笙

葉ながら八ゟ一ゟ乃長さ小　太傳

神都　梅月庵坡仄撰

青の面海ゟ色きゝめ京ゟ那　吉町　文里
切畑や蔓ゟ長ゟ蔓ゟ蝶の売　塩沢　牧之
清てあれゟ長ゟ花名ゟ小　仝　志好
蛍や只ゟたの心　長岡　太傳
菖蒲や大和形ゟの昔道　関　野麥
蛍乃神ゟ息ゟ言ゟ為ゟ　妻吉寺　柳只

新ゟの家ゟや瀬ゟの根乃ゟ　武蔵　一知
風乃吹ゟ鯖ゟ腮ゟの那　所厩橋　許友
青ゟのかけゟ長ゟ歩ゟ梅小　関　野牛
ゟ井息ゟ打ゟ人ゟ新ゟ小　牛ノ又　古村
青井夜の雨ゟ冷ゟ部ゟ敷　関　野麥
ゟ乃ゟ近地の西ゟ中石蔭の花　山谷　朝雨
名月ゟ人ゟ酒ゟ　武州羽生　亀峰
月今ゟ青秋の海ゟ長ゟ　塩沢　茂兮
五月雨ゟ柳の枝ゟ立所ゟ　中嶋　北季

麻衣の門を行くや秋の色　志好

藤をたゝてもみ藤をたゝても秋永し　長園　太音

行つくすゝと石のうるおやの秋の風　泉田　似聲

淵しらふかもかくれぬ秋乃雲　目赤田　里竹

新角してふかぬ秋をけて秋のる　竹又　野草

吹ふる一節ふてふ明ふかり　信州七郎　寄芳

夕ふり合ふて山鳥を越る雪の伝　京町　文里

眺をてふのこゝろ伝　武州忍　琴山

秋の風きのふも吹ふり　文里

行やくるゝとも知らぬ秋の暮　小千谷　里鶴

浪華不二庵桃居選

海苔や蒼さうへふ雪の紅　塩沢　芦笙

母親乃藤臭ふ伝き家乃伝　長園　喜三

琴ふ手ハ乃ふ乃ふ安ふ衣うへ　反田　松砂

本ハ水ふ海ふ名ふ乃ふ　武州忍　露雨

訪ふ人へ金ふ乃ふ山鳥　長園　白童

ふ笠ふ本ふ海ふ乃ふ月　仝　喜三

鶯を待せて篠の根ふ沢　宮風（六日町）
蚊の口もふさせてまつ夕の恨うら　文正（長岡）
草枕乃窓のうきうしや松の月　書郎（上州沼田）
たゝかやゆ日れ命あた朝霧　文里（六日町）
ふるのりれたゝうきく彩よ　素嵐（塩沢）
る規浦鶯の花風面と持　玲水（上州高崎）
出来秋や篇て寒ぬ濁酒　艶舟（中條）
明月や水ふ美ふくふ人ふ　花英（武蔵羽生）
世を捨てふんてふ蝶ふ　佳朝（塩沢）

菜れ忘ややまとめくりの普道　野麥（関）
茶巾干れ沢ふ影や枇杷の実　盧呂（六日町）
駕舁乃いてわて佛ふ扇乃　曉雪（長岡）
ふふふまたりのふ山やたつ猫　牧之（塩沢）
好金とふ源ふ家りて朝霧れ　玉芝（小千谷）
源ふ雨りも市れひくさや栗はも　野草（竹之又）
稲畑やふふる片寄る根ふ雲　北川（塩沢）
白鳥や石をたゝ湖の垂り　真雲（下条）
生簡ふ二つふふやふ仙も　宗雪（武忍）

君か代や畑うつ人も源氏雲　上州伊勢町 麦雨

花洛 一無庵丈左撰

山人乃膝をも打や包のはし　宮町 松居

おりしれ月よりさきに時雨哉　出雲崎 里仙

涼しやと見てゐる山の暮かゝり　目来田 蘇凡

枕かもなき人の寝覚の雨　小平谷 旭宇

秋風やきぬ縫の庵を吹めくり　上州伊与久 鯤思

年時のりや唯一蓮乃花の上　仙田 二川

狼の吼枯しける野末かな　上州白沢 旬竹

寂しさに戸もさゝぬあきの夕暮　目来田 里竹

浅千骨を肥しける菴　柏崎 呉洋

浅からぬの人は来りけり秋の暮　長岡 柳夕

野をきぬまゝやきこけり小雨の後　里竹

大和路や春比中にありけるかな　宮町 如夢

星合やあまりに晴る秋の気色　仝 麦路

山里にあるは眠る柳ちれ　武州蕨 兼佳

春風や浅きをはしり小商人　麦昭

朝ハ朗 柳ハ垣よりはなれけり　関山 杜園

なれ子よ時雨て秋の江や先　栖夕

名月や落来る雲も行の風　十日町 霞雪

蛍や只またのしき胡心　長岡 呑傳

山伏乃衣ハ赤し春の秋　塩沢 牧之

雨みえ後や戸に雑さる虫の声　宮町 尚古

大空ぬかくる月お哉　信州七郡 鳥淩

様咲く世や日暮かけ江寄さそ　伊勢平治 蝶石

雪のく積もあるる人の通り行　松居

忘らぬ人つくしに此金の雨　塩沢 茂兮

六評通点之部

浪のうつ川と八尺入れ秋の月　竹丈 如竹

まちけり池の面や秋の雨　仝 古村

尾花さ宮の便さや栗の花　野草

菜の花や小松緑する宮の宿　千手 一歩

名木や老人の京の月　柏崎 虎雄

吹分る中に入りや秋さき　上羽田 葉列

尺ばかりなる秋の如可那　目赤田　里竹

鴉下りて小麦の田の面ほの霞　武州　花曉

門へ出る秋の月の入さや小荻原　塩沢　佳朝

蚊屋くゆる隣家おそく影寒し　小千谷　文雄

雨をもれ雲まくしを燈　如竹

夏負や屋い埃乃き宣中　見附　湖月

三日月は澤ふ風の寒し　塩沢　北川

暗きなるの多の那　武州　蘭山

涼しさや竹の中切水音　塩沢　志好

名月や初うりあるく　中條　艶舟

世を捨て沙弥の月も見る秋ぞ　長岡　文正

やうやう寒やきらりある田の露　里竹

小田の月動て絶る鶴の音　目赤田　芦月

雨しくと稲刈ちる孫兵衛　武州越谷　月樵

菜の香や彩りふ光る傾ほ砂　上州館林　一圭

五月雨や濡て出る子の月　塩沢　可榮

蕎麦を絶て小麦ふりまる　関　野麥

既に切秋ぞいふ蕎麦の色　宮村　洞曉

[illegible]や[illegible]へ[illegible]る[illegible]の人　塩沢　茂兮
[illegible]て[illegible]時[illegible]と[illegible]ふ　仝　牧水
[illegible]月[illegible]尾[illegible]ふ[illegible]　出雲崎　百亀
雨の蝶[illegible]越[illegible]の力の那　塩沢　[illegible]
[illegible]山[illegible]よ[illegible]時[illegible]一人[illegible]　上州八崎　素交
[illegible]て[illegible]る[illegible]美[illegible]れ[illegible]形　志好
柳の[illegible]て[illegible]日和[illegible]　可榮
[illegible]柳の[illegible]り[illegible]　見附　其流

七評通[illegible]之部

菜市干[illegible]の日[illegible]や枇杷[illegible]　高岡　憲呂
[illegible]角[illegible]木[illegible]秋の雨　野草
涼[illegible]や灯[illegible]水の[illegible]　牧之

八評[illegible]之部

雪の[illegible]白[illegible]の通り[illegible]　六日町　杉長
白[illegible][illegible]　小出雲　素良
[illegible]秋の[illegible]　里竹

九評〻部

佛〻さの和ふ秋の星月夜　塩沢　青宇

法樂　[illegible]

君〻代よ鎧姿そ秋の表　杉風　烏明

夏夢のむ〻さかる夢哉　八千坊

影や海石ふ万ぬ柳のつ〻ふ　義仲　重厚

海〻や雲の花ふも馬〻鞍　千鳥　杜春

時〻ふと〻〻通ふの夏よ入　梅月庵　坡仄

ふ〻ら乃之や四方よ海よ秋　[illegible]　桃居

秋好海ふや秋ふ〻ふ海の色　一幸庵　丈石

ふの海ふ〻ふ〻と法ふよ載す

山茶花のり和や山のおの〻〻　芭蕉翁　蒼虬

ほと〻と安人ふ〻ふかんふ〻ふ　春林庵　其堂

秋秋や秋ふ〻ふ〻ふ〻ふ　邦子坊　博和

蕉門書林
皇都寺町通二條
橘屋治兵衛梓